

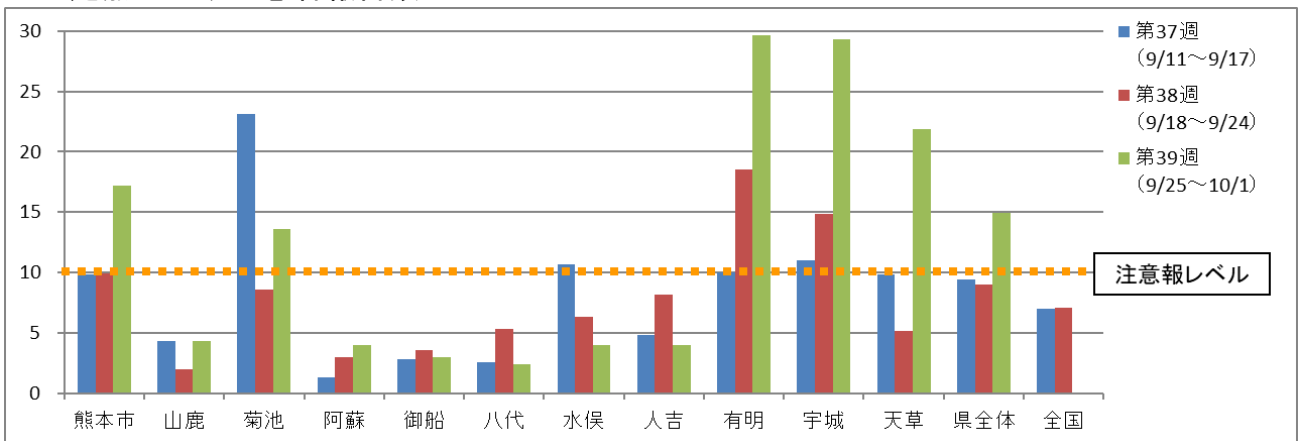
インフルエンザ患者報告数が、注意報レベルを超えました。
～感染拡大防止に努めましょう～

○ 令和5年（2023年）第39週（9月25日～10月1日）の熊本県感染症発生動向調査で、県全体のインフルエンザの一定点当たりの患者報告数（※）は、14.91（定点数80か所、報告数1,193）となり、注意報の基準値（一定点当たり10）を超えました。保健所別では有明（一定点当たり29.63）、宇城（同29.33）、天草（同21.86）、熊本市（同17.16）、菊池（同13.63）の順に高くなっています。

○ これから患者数の増加が予想されますので、一人ひとりが正しい知識を身につけて、手洗い、せきエチケットなどインフルエンザ対策をしっかりと実行しましょう。特に、医療機関や高齢者施設、保育所、幼稚園、学校など集団生活の場では、徹底した感染予防に努めてください。また、ワクチン接種も有効です。詳しい予防対策は、裏面や国、県のホームページをご覧ください。

※ 一定点当たりの患者報告数とは、1週間のうち定点医療機関（あらかじめ選定された県内80医療機関）から報告された患者数を定点医療機関数（熊本県は80）で割った値です。

<一定点当たりの患者報告数>



※ 全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国情報は第38週分までとなっています。

<保健所別一定点当たりの患者報告数>

網掛け：注意報レベル

	熊本市	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	県全体	全国
第37週 (9/11~9/17)	9.84	4.33	23.13	1.33	2.80	2.57	10.67	4.80	10.00	11.00	9.86	9.39	7.03
第38週 (9/18~9/24)	9.96	2.00	8.63	3.00	3.60	5.29	6.33	8.20	18.50	14.83	5.14	9.01	7.09
第39週 (9/25~10/1)	17.16	4.33	13.63	4.00	3.00	2.43	4.00	4.00	29.63	29.33	21.86	14.91	

《参考》

厚生労働省ホームページ「インフルエンザ（総合ページ）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleza/index.html

熊本県ホームページ「今冬のインフルエンザ総合対策に取り組みましょう(2022-2023シーズン)」

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/153141.html>

(裏面あり)

(連絡先)

健康危機管理課 感染症対策第二班 担当：大和、梶島
電話：096-333-2240（直通）（内線33154）

【現在のインフルエンザ流行状況】

- ① 全国の令和5年（2023年）第38週（9月18日～9月24日）の定点当たりの患者報告数は「7.09」となっています。
※全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、1週古い情報になります。
- ② 今シーズンに入って国内各地で検出されたウイルスはA型が最も多くなっています。
※インフルエンザウイルスは大きくA型、B型、C型に分類され、国内で報告されるのは、主にA型とB型です。

【インフルエンザはどんな病気？】

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ② 時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。
- ③ インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、例年11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間には患者数が増加します。

【インフルエンザの予防法は？】

- ① 流行時には人混みを避ける。
- ② 20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを習慣づける。
- ③ 栄養、休養、睡眠を十分に取る。
- ④ 部屋の換気と保湿に心がける。
- ⑤ 医師に相談のうえ、ワクチン接種を検討する。

【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

- ① 安静にし、十分な休養を。学校や職場へは無理して行かない。
- ② 早めに医療機関を受診して治療を受ける。
- ③ 水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。
- ④ 周りの人へうつさないために、マスクをつけ、外出を控える。
- ⑤ せきエチケットを守る。
 - ◆ せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
 - ◆ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
 - ◆ せきをしているときは、マスクをつけましょう。

【過去のシーズンのインフルエンザ流行状況】

シーズン	流行入りした週 (※1)	注意報レベルに達した週 (※2)	警報レベルに達した週 (※3)	シーズン中、最も報告が多かった週
2023～2024	令和5年第36週 (R5.9.4～9.10)	令和5年第39週 (R5.9.25～10.1)	—	—
2022～2023	令和4年第50週 (R4.12.12～12.18)	令和5年第5週 (R5.1.30～2.5)	—	令和5年第6週 (R5.2.6～2.12)
2021～2022 及び 2020～2021 は流行入りなし				
2019～2020	令和元年第43週 (R1.10.21～10.27)	令和元年第49週 (R1.12.2～12.8)	—	令和元年第52週 (R1.12.23～12.29)
2018～2019	平成30年第49週 (H30.12.3～12.9)	平成30年第51週 (H30.12.17～12.23)	平成31年第2週 (H31.1.7～1.13)	平成31年第2週 (H31.1.7～1.13)

- 【国が定める基準】**
- ※1 流行入り ・ ・ 定点当たりの患者報告数 1.0
 - ※2 注意報レベル ・ ・ 定点当たりの患者報告数 1.0
 - ※3 警報レベル ・ ・ 定点当たりの患者報告数 3.0